

SAH(スーパー・アカウンティング・ハイスクール)Q&A

Q1「SAHとは何ですか？」

A1 三商が、全国の商業高校の中で3校だけの指定校に選ばれ、「スーパー・アカウンティング(会計学)・ハイスクール」として、新入生全員で日商簿記検定2級取得を目指す日本最先端の簿記教育を平成27年4月からスタートさせることになったものです。

※簿記： 財産がどれくらいあり、1年間でいくら使っていくらもうけたかの世界共通の記録のこと。古代にはすでに簿記は存在し、現在使われている簿記は、14世紀ルネッサンス頃に発明されてからほとんど変わっていないという人類の英知の代表選手です。

日商簿記検定2級は、特に、中小企業等の経営に欠かせない簿記の力です。つまり、税理士・公認会計士を目指す人はもちろん、特に、将来的に事務系の就職を目指す人には必要な力です。

三商の取組はこれです！日本最先端の簿記教育とは！

(1) わかりやすさの追求

ア インターネット上の授業を見て予習、学校の授業で復習をする、文部科学省推奨の「ICT活用による反転授業」を行います。わかった生徒を待たせず、分からない生徒を放置しない画期的なシステムです。

イ 日本を代表するカリスマ公認会計士が直接指導します。

ウ 三商生専用のホームページがあり、そこに質問を書き込むと、担当公認会計士がわかりやすく回答し、全員がそのやりとりを見て理解を深めます。もちろん、本校職員へ直接質問するのも大歓迎です。

(2) ハイレベルの追求

ア 公認会計士への現役合格率がトップクラスの大学で、実際に大学生が視聴しているインターネット上の授業を活用します。

イ 日商簿記2級合格は全員が目指しますが、同じく1級も高校在学中に取得できる環境(ホール・Aプロジェクト)が全員にあります。

ウ Skypeにより大学の講座をライブで受講できます。

(3) 進路の確保・夢の実現

ア 高崎商科大学との連携で、4年間授業料免除特待生入学制度があり、日商簿記1級に合格しなくてもホール・Aプロジェクトに参加し「がんばっている生徒」はこの制度で入学できます。大学4年間で税理士・公認会計士合格を完全サポートします。

イ 日商簿記2級は就職のみならず、広く大学の推薦入試にも役立ちます。さらに1級を取得すると、大手企業への就職、国立大学進学への強力なバネになります。簿記の力は、普通高校の生徒は手にすることができない商業高校生だけの人生の味方です。

Q2「SAHとホール・Aプロジェクトの違いは何ですか？」

A2 SAHは高校在学中に「全員を対象として日商簿記2級に合格」させるプロジェクトですが、ホール・Aプロジェクトは、同じく高校在学中に「志願者を対象として日商簿記1級に合格」させるプロジェクトです。さらに、ホール・Aプロジェクト参加者は、1級に合格できなかった場合でも「志がある」と判断されれば、高崎商科大学に4年間授業料免除で特待生入学し、税理士・公認会計士を目指して継続した学習ができます。

Q3「パソコンがないのですが、SAHは大丈夫ですか？」

A3 学校には200台のパソコンがあり、皆さんが利用できるように開放します。また、自宅では、パソコンがなくてもスマートフォンや携帯端末（タブレット）等インターネットの環境があれば授業が視聴できます。

Q4「勉強が苦手だし、簿記は高校で初めて習うので不安です」

A4 SAHでは、インターネット上の授業（ビデオ）でまず予習するので、聞き逃したところなどは何度でも繰り返し視聴できます。その際どうしてもわからないところは授業で復習するときに先生に聞けますし、質問専用のホームページもあり、至れり尽くせりです。

これまでの傾向からすると、中学校の成績等は全く関係ありません。みんなが初めてなので、がんばっただけ成果が上がります。

そもそも、簿記は「商業高校生の命」です。例えば、広く社会が水産高校卒の人に水産関連の知識と経験を期待するように、商業高校卒の人には簿記の力を期待します。将来、社会に出たときに、例え、情報処理系の道に進んだとしても、簿記は強力な味方になります。会計ソフトを作ったり、手直ししたりするには、簿記の力がない人にはできないのです。簿記によって社会になくってはならない、取り替え不可能な人材になれるのです。

Q5「簿記の資格は役に立ちますか？」

A5 簿記は、言わば、カルテのようなものです。お医者さんが、患者のデータが書き込まれたカルテを見ればすぐにその患者の状態が分かるように、簿記を見れば、すぐにその経営の状態がわかります。これは、個人商店から一部上場の大企業まで、しかも、世界共通です。「医療に貢献したいけど、医者にはなれないなあ」って思う人は、会計士になって病院の経営を指導するのも立派な医療貢献になります。

君の人生をぐんと広げる簿記のレベルを説明します。

日商簿記3級： 簿記の基礎、基本であり、個人商店の経営レベル。

日商簿記2級： 株式会社の取引が加わり、企業で使える会計知識レベルで、就職や進学に役立ちます。

日商簿記1級： 大企業の取引を含め最先端の会計知識を学び、簿記のエキスパートとして社会貢献したい人レベル。1級は税理士の受験資格にもなっています。

進学も選択幅が一気に広がります。以下、主な大学。
高崎商科大、一橋大、千葉大、弘前大、福島大、信州大
日本大、東京経済大、玉川大、創価大、獨協大、中央学院大

Q6「運動部との両立は可能ですか？」

A6 もちろん可能です。一日30分のインターネット予習、そして、授業で復習が最低限の基本です。一日のどこかで30分、時間を見つけてください。また、学校の中で、一斉に予習する時間が取れるかどうか、設備の面も含めて検討中です。

Q7「日商簿記の2級に合格しないと卒業できないんですか？」

A7 そんなことはありません。SAHは、全員合格が可能なシステムですし、それを目指しますが、努力の結果として万一合格できなくても卒業させないなどということはありません。

また、同じく3級に合格しないと2年生に進級できないということもありません。

ただし、せっかくのサポート体制ですので大いに頑張ってみてください。

Q8「SAHに費用はかかりますか？」

A8 ○ 日商簿記3級

SAH専用テキスト+専用Web授業視聴料 1,620円→無料

○ 日商簿記2級（2～3年の2年間で）

SAH専用テキスト+専用Web授業視聴料 10,260円→8,640円

○ 日商簿記1級（ホール・Aプロジェクト参加者）

ホール・A専用テキスト+専用Web授業視聴料 259,200円→無料

※ 各級の検定料が別途必要になります。

Q9「2年生で情報処理科に進みたいのですが、簿記は必要ですか？」

A9 はい、必要です。情報処理系に進むと、社会に出てライバルになるのは大学の工学部卒の人たちです。その時、威力を発揮するのが簿記の力です。会計ソフトの開発は、いくらコンピュータの技能が高くても簿記の知識がないとできません。また、就職した先の社長から「この会計ソフト見にくいからこういう感じに直して欲しい」と言われてできるのは簿記がわかる人です。情報処理系に進んでも、商業高校卒ならではの力を発揮するために簿記が必要です。